

# 記憶の戦士

## 第1回

### New 新連載

#### 青木 健 たくる

#### ◆記憶の世界から「はじめまして」

みなさんはじめまして！私は「記憶の戦士」青木健（あおきたける）です。日本ではあまり知られていませんが、記憶力を競うスポーツであるメモリスポーツの選手です。もしかしたらみなさんの中に記憶力選手権という名前をどこかで聞いたことがあるという方がいらっしゃるかもしれません。メモリスポーツは、日本ではまだまだマイナーな競技ですが、実は世界中で愛されている競技です。毎年世界40カ国以上で大会が開催されており、私も日本チャンピオンとして日本代表として、アジアを中心に様々な国で戦っています。

ということでこの連載記事にも「記憶の戦士」という名前をつけました。

#### ◆日本の記憶力選手権

2005年から毎年2月に奈良県大和郡山田市で記憶力日本選手権という大会が開催されています。記憶力選手権では、様々な種目の記憶を競います。人の顔と名前を覚える“顔と名前”、ランダムに並んだ数字をできるだけ多く記憶する“スピードナンバー”、ランダムに並んだ名詞や動詞形容詞を記憶する“無作為の単語”、架空の年号を記憶する“架空の年表”などがあります（競技の詳細内容は別号で紹介いたします）。その種目ごとの順位も発表されますが、最後の総合点でチャンピオンが決定します。私は記憶力日本選手権に2011年から参加をし、優勝を含め6年連続で3位以内の上位入賞をしています。



↑日本テレビ系「Zip」に出演

↑記憶力日本選手権の様子



#### ◆世界の記憶力選手権

1991年にイギリスで世界記憶力選手権が初めて開催されました。今では日本を含め世界40カ国以上の国で記憶力選手権が開催されています。今まではアジアを中心に8カ国の国際大会に参加してきました。日本国内では常にトップ3に入り、他の選手と比べ圧倒的な強さを見せていますが、実は日本を飛び出して世界を舞台に戦うと、優勝は未だ果たしたことがなく、準優勝が1回、3位が2回となかなか思うようには活躍できていません。メモリスポーツ界では、ドイツ、スウェーデン、アメリカ

などが非常に強く、アジアでは中国やモンゴル、インド、フィリピンなどが活躍しています。中国を例にあげると、中国では世界選手権の予選に中国全土から10万人以上の選手が参加してその中から選ばれた数名から数十名が大会に参加しています。強い国を見ていると、中国のように選手の母数自体が多く国内大会でも非常に熾烈な争いが繰り広げられ、その苦しい戦いを突破した選手が世界選手権に出てきて活躍しています。

一方日本での競技人口は200人程度です。中国などの強豪国と比較すると国内の大会はそれほど厳しくなく、毎度私を含めた同じ顔ぶれの3、4名ほどの選手が優勝争いをしています。



←オーストラリア大会準優勝

↑世界選手権の様子



日本人選手が世界でなかなか勝てないという状況を打開するために、2014年からは選手としてだけでなく東京フレンドリー記憶力選手権という、初心者から世界トップレベルの選手まで気軽に参加できるような大会を主催者として開催をしています。毎年、日本国内のみならず、韓国、中国、シンガポール、スウェーデン、アメリカなどの世

界各国から選手が参加しています。日本人選手も参加人数を確実に増やしており、現在では約20人の選手が毎年世界各国の国際大会で活躍を見せてくれるようになりました。

2015年からWorld Memory Sports Council（世界メモリスポーツ協会）から認定を受け、数名の選手と一緒にJapan Memory Sports Council（日本メモリスポーツ協会）の運営も行っており、日本人選手の意見をまとめてワールドの基金化や意見の提案、翻訳業務なども行ってまいります。

また、2016年からはメモリスポーツ講座を月に2度開催し、こちらも初心者から世界選手権の上位の選手まで様々なレベルの選手が参加し、競技種目の練習だけでなく、記憶方法からメモリスポーツ業界のニュースなどの情報交換を行っています。

今では、皆さんが今読まれている雑誌での原稿を書いたり、テレビやラジオに出演したり、大会



を主催したり、講座を開いたり選手としてのみならず、メモリスポーツの普及活動に力を入れて活動しています。実はそろばん界でも有名な土屋宏明選手や法律家音選手と一緒に中国の番組で共演をしました。



今後も選手や運営としてだけでなく、広報などあらゆる面から「記憶の戦士」として戦っていきたいと思います。

もし、メモリスポーツに興味を持たれたら、こちらまでお気軽にご連絡ください。

一緒に世界を相手に戦いましょう！

japamemoriesportsCouncil@gmail.com